

八剣山通信

2011年1月31日発行

八剣山発見隊

快挙誇りに 新たなスタート

八剣山発見隊新年会

八剣山発見隊の新年会が1月30日（日）、札幌市内の飲食店「あつ晴れ」で隊員19人が参加して開かれました。「八剣山通信」の第100号発刊と、発見隊との関わりが深い砥山農業クラブのコープさっぽろ農業賞交流賞受賞（昨年12月）を仲間で祝おうという趣旨で、ともに「発見隊発足以来の快挙」と大いに盛り上がりました。



[吉田隊長によるあいさつ]

「八剣山通信」は会発足の2002年10月第1号を出して以来、会の活動を発信、昨年（2010年）7月、発見隊のメイン行事「さくらんぼ祭り」を伝える号で記念すべき100号となりました。第1号は今のグリーンアース運動の先駆けとなる「豊平川ゴミ拾いと八剣山登山」を伝えています。このゴミ拾いは現在も毎年6月に行っている「ラブアースクリーンアップ・イン八剣山」につながっています。以来、毎年12～14号を出し続け、昨年暮れまでに107号を出しました。毎号、写真をふんだんに使い、会の活動を分かりやすく伝えているのが特色です。発刊に最初から関わってきた塚本保弘さんのご苦勞に対し新年会の席上、吉田恵介隊長から感謝状が贈られました。塚本さん本当にありがとうございました。



塚本保弘さんへ感謝状

コープ農業賞交流賞は、昨年全道17件の応募・推薦があった中から、見事に選ばれました。交流賞は、砥山、八剣山地区の生産者8戸で作る砥山農業クラブの農業小学校や地域活性化の取り組みなどが評価されたものです。2004年に発足した農業小学校は、現在上川農業改良普及センターにお勤めの杉浦輝陽（てるあき）さんが、本州で同様の活動があるのを知り、



瀬戸修一さんによる受賞報告

「是非、北海道でもやろう」と提案、砥山農業クラブの中心的な事業となりました。毎年5月から10月まで、毎月1回の農業体験など、さまざまな実習を小学生を中心とした親子が体験

するものです。ふだん自然との触れ合いが少ない家族が、文字通り泥まみれになって、自然の恵みのありがたさ、農業の大変さなどを体で感じとっています。毎年、最後に出す子供たちの感想文では、「農業の大切さ、大変さをもっと多くの人に知ってもらいたい」との率直な感想もあり、この活動の意義が浮かび上がっています。今では連続5年に渡って参加する親子もあり、都市住民と農家を結ぶ、かけがえのない取り組みとなっています。

このほか、発見隊のメイン行事、昨年7月のさくらんぼ祭り
で、一般の参加者とボランティアなどからとったアンケート調査の結果の分析が吉田隊長から報告されました。リピーターは50代、60代の比較的年配層が中心。初めては若い層が多い

が今後も来てくれる可能性がある。要望では「農業体験をしたい」なども多く、今後の検討課題となりそうです。また、発見隊発足当初の活動を記録したDVDも上映され、会員の湯沢利一さんの指導による「納豆作り」や「ギネスブックに挑戦、雪だるま作り」などに、「昔は、いろんなことをやっていたんだな」と感嘆の声が上がりました。

締めは食事券やサウナ入浴券などが当たるお楽しみくじの発表。景品が明らかにされるたびに歓声があがり、楽しいひとときとなりました。

なお、発見隊の本年最初の事業として、「果樹の剪定講習会」が3月に開かれる予定です。



農業小学校の経緯を話す杉浦輝陽さん



塚本保弘さん



アンケートの結果報告する吉田隊長



懇親会



発行:八剣山発見隊(事務局長 瀬戸修一)
〒061-2275 札幌市南区砥山 84 番地
☎・FAX 011-596-2694
E-mail toyamafureai@gol.com
URL <http://hakkenzan.com/>